# アイランドシティ地区新設中学校新築工事 設計者基本設計プロポーザルの審査結果について

### 1. 審査結果

・最も適した設計者:K グループ

(建築設計者)

梓·傳設計共同企業体

代表構成員:株式会社 梓設計 九州支社 常務執行役員支社長 渡邊 誠構 成 員:株式会社 傳設計 代表取締役 岩本 茂美

(設備設計者)

株式会社 産研設計 代表取締役 船津 浩

# 2. 選定委員会開催日程

·第1回選定委員会

令和7年6月27日(金)

設計プロポーザルにおける審査、技術提案書評価及び求める提案課題並びに参加資格 について審議を行い、審査方法など基本的な事項について決定。

·第2回選定委員会

令和7年7月31日(木)

配置する主任担当技術者の資格並びに管理技術者及び主任担当技術者の実績について、 書類審査による一次審査を行い、二次審査対象者1者を選定。

·第3回選定委員会

令和7年10月7日(火)

□ 二次審査に向け、ヒアリング項目について意見交換。

·第4回選定委員会

令和7年10月15日(水)

技術提案書に記載の業務実施方針及び評価テーマについてのヒアリング並びに業務価格による二次審査を行い、最も適した設計者を選定。

### 3. 一次審査(100点満点)

参加表明書を提出した1者をKグループとして、参加資格及び「資格(主任担当技術者の専門分野の技術者 資格)」「技術力(各技術者の業務実績)」の評価点の算定結果について、事務局が選定委員会へ説明を行っ た。

選定委員会は事務局の説明内容を確認のうえ、上位1者を二次審査参加者として選出することを 決定した。

### 【一次審査の評価点】

順位	1位(Kグループ)
評価点	75点

### 4. 二次審査(120点満点)

二次審査参加者が提出した技術提案書に基づいてヒアリング(プレゼンテーション15分以内、質疑応答15分以内)を実施した。

各選定委員は、「業務の実施方針」「業務の実施体制」「業務の実施工程」「各評価テーマ」について採点した。事務局にて各選定委員の評価点の集計を行い、「資格・技術力(一次審査評価点の15%)」と「業務価格」の点数を加えたものを、Kグループの評価点の合計とした。

選定委員会は、評価点合計の最も高いKグループを最も適した設計者として選定することを決定した。

## 【各グループの評価点】

評価項目		配点	評価点		
		Волк	Kグループ		
資格・技術力 (一次審査の15%: 小数点第三位以下切捨て)		15	11.25		
			平均	合計	
技術提案	業務の実施方針	20	13.57	95	
	業務の実施体制	20	14.28	100	
	業務の実施工程	20	11.42	80	
	テーマ1	20	9.28	65	
	テーマ2	20	13.57	95	
技術提案小計 100		62.12	435		
業務価格 5			5		
評価点合計 (技術提案は平均点)			78.37		
	順位			1位	

※技術提案の平均点は、小数点第三位以下切捨て。

### 5.審査講評

# Kグループ(選定者)

### 【業務の実施方針】

- ・他世代との交流など多様な連携を生む仕組みを提案している点が評価された。
- ・コスト管理において、コストプランナーの活用や複数回のコスト確認を行う点が評価された。
- ・既存小学校の配置を踏まえたシンプルで明快な配置計画が評価された。

### 【業務の実施体制】

- ・小中連携や一貫校の設計の専門家と協働し、全国的な動向を把握したサポート体制が評価された。
- ・チーム内のデータをタイムラグなくデータ共有する具体的な提案が評価された。
- ・豊富なZEB実績を活かした具体的な取り組みが評価された。

### 【業務の実施工程】

- ・初期段階で、意見収集を行い計画に反映する点は、地域課題に対応する施設設計に有効と評価された。
- ・フェーズごとに市担当者との確認期間を確保し、フィードバックする点が評価された。
- ・業務の進捗を見える化することによって検討漏れや見落としを防止し、確実に工程を管理する取り組みが評価された。

### 【テーマ1】

### 「隣接する照葉はばたき小学校との小中一体的な連携教育を実現するための施設計画」

- ・小学校、中学校それぞれの日常的な学校生活や交流がしやすい、小中連携教育を実践するための効果的な計画を提案している点が評価された。
- ・将来の仮設に備えた拡張性を有するゆとりある配置計画が評価された。

# 【テーマ2】

#### 「ライフサイクルコストの低減及び省エネ性能の向上の両立に配慮した施設計画」

- ・積層配置によるコンパクトな施設構成がライフサイクルコストの低減に有効と評価された。
- ・地域の特性を踏まえ、ライフサイクルコストを考慮した塩害対策の取り組みが評価された。
- ・工事の臭気を発生させない小学校への配慮した計画が評価された。